

サウンディング結果の公表について

佐久市障害者支援施設「臼田学園」の民間活用に向けて、サウンディングを実施しましたので、その結果を公表いたします。

1 対象

佐久市障害者支援施設「臼田学園」

2 調査の目的

佐久市障害者支援施設「臼田学園」につきましては、昭和31年10月に知的障がいを持つ子どものための精神薄弱児施設として旧臼田町（勝間地籍）に整備され、昭和61年10月に精神薄弱者更生施設「臼田啓明園」の開設に併せ、現在地（北川地籍）に移転されたものです。

その後、旧知的障害者福祉法及び児童福祉法の特例措置等の終了に伴い、平成24年3月に知的障害者更生施設「臼田啓明園」及び知的障害児施設「臼田学園」をそれぞれ廃止するとともに、同年4月1日付けで、新たに障害者自立支援法に基づく障害者支援施設「臼田学園」を設置し、定員を60名に定め、今日に至るまで障害福祉サービスの提供を行っています。

このような中、平成29年に策定した「佐久市公共施設等総合管理計画」においては、当該施設の今後のあり方について、「制度面や保護者の了解などの諸条件を満たす社会福祉法人などとの間で、移譲、貸与、または指定管理者制度の導入などを」検討することと定めています。

こうしたことから、更なる民間活用を推進するため、補助制度の創設などを想定しながら調査を行い、妥当性や有効性を見定める必要があると考えます。

そこで、民間事業者との「対話」を通じて、関心度を把握するとともに、実現性の高い公募条件の整理等について、幅広く意見、提案を求めるため、以下のとおりサウンディング型市場調査（以下「サウンディング」という。）を実施しました。

3 スケジュール

| 項 目 | 日 程 |
|----------------|---------------|
| 実施要領の公表 | 令和3年10月18日（月） |
| 質問事項の受付期限 | 令和3年10月27日（水） |
| サウンディングの参加申込期限 | 令和3年11月10日（水） |
| サウンディングの実施期間 | 令和3年11月16日（火） |
| | 令和3年11月17日（水） |
| 結果概要の公表 | 令和4年 1月31日（月） |

4 概要

「サウンディング調書・提案書」に沿って実施

5 参加事業者

3事業者

6 意見・提案（※主なものを抜粋。事業者が特定される意見等は除く。）

(1) 公募した場合の別紙4-1・4-2に対する関心度、実現可能性に関する所見

| |
|---|
| 1-ア 別紙4-1により運営事業者を公募した場合の関心度 |
| ▽関心はあるが条件次第（1事業者） ▽関心はない（1事業者） ▽その他（1事業者） |
| 【上記の主な理由】 ・建設用地の取得、職員採用計画を考えると日中サービス支援型グループホームの運営は厳しい。 |
| 1-イ 別紙4-1の実現可能性に関する所見 |
| ▽実現は可能であるが、様々な事情から自法人で実施することは困難（2事業者） ▽その他（1事業者） |
| 【上記の主な理由】 ・規模の大きな法人であれば可能かと思う。 ・職員人数も少なく、日中サービス支援型グループホームを立ち上げる際に職員採用、確保が難しい。 |
| 1-ウ 別紙4-1により施設整備を検討している場合の想定度 |
| ▽その他（3事業者） |
| 1-エ 別紙4-2により運営事業者を公募した場合の関心度 |
| ▽関心はない（1事業者） ▽その他（2事業者） |
| 【上記の主な理由】 ・法人所有のグループホーム建替計画を優先するため、資金的、人力的に余裕がない。 |
| 1-オ 別紙4-2の実現可能性に関する所見 |
| ▽実現は可能であるが、様々な事情から自法人で実施することは困難（2事業者） ▽その他（1事業者） |
| 【上記の主な理由】 ・規模の大きな法人であれば可能かと思う。 ・職員人数も少なく、日中サービス支援型グループホームを立ち上げる際に職員採用、確保が難しい。 |
| 1-カ 別紙4-2により施設整備を検討している場合の想定度 |
| ▽その他（3事業者） |
| 【上記の主な理由】 ・臼田学園の利用者を法人で建替予定のグループホームへ一定の人数での入所を検討することは可能である。 |

(2) 別紙4-1・4-2「補助制度の創設に係る公募条件の概要（素案）」に対する意見

| |
|---|
| 2-ア 別紙4-1「補助制度の創設に係る公募条件の概要（素案）」に対する意見 |
| ▽見直して欲しい項目がある（1事業者） ▽無回答（2事業者） |
| 【上記の主な理由】 ・市外に整備する場合でも補助対象としていただきたい。 |

| |
|---|
| 2-イ 2 補助制度の概要の期間に対する意見 |
| ▽なし(1事業者) ▽無回答(2事業者) |
| 2-ウ 2 補助制度の概要の土地に対する意見 |
| ▽なし(1事業者) ▽無回答(2事業者) |
| 2-エ 2 補助制度の概要の補助対象経費の考え方に対する意見 |
| ▽なし(1事業者) ▽無回答(2事業者) |
| 2-オ 別紙4-2「補助制度の創設に係る公募条件の概要(素案)」に対する意見 |
| ▽見直して欲しい項目がある(1事業者) ▽無回答(2事業者) |
| 【上記の主な理由】 ・法人としては、令和8年度までという期間の中で「知的障害者グループホーム」を建設、運営することは財政的、人力的に難しい。 |
| 2-カ 2 補助制度の概要の期間に対する意見 |
| ▽なし(1事業者) ▽無回答(2事業者) |
| 2-キ 2 補助制度の概要の土地に対する意見 |
| ▽あり(1事業者) ▽無回答(2事業者) |
| 【上記の主な理由】 ・建設する土地の取得費用の負担が難しい。 ・グループホームを運営できるような市有地の提供を検討いただきたい。 |
| 2-ク 2 補助制度の概要の補助対象経費の考え方に対する意見 |
| ▽あり(1事業者) ▽無回答(2事業者) |

(3) 懸念される事項

| |
|---------------------------------------|
| ア 現時点で懸念される事項と対応策 |
| ・入居する利用者同士の相性が良好でないとトラブルが発生する確率が高くなる。 |

(4) その他（自由提案）

ア これまでの設問以外の提案、その他の意見

- ・1～2年後、新設・既設のグループホームの定員増（2名増）を考えているので、臼田学園の入所者の受け入れられる可能性はある。
- ・法人の施設整備の優先度として、日中サービス支援型グループホームは、優先順位が低い。
- ・地域移行という考え方には賛成で、専門的にケアをする場を残して地域移行していく形が一番よいのではないか。
- ・同時期に20人規模のグループホームの設置は現実的でないと思われるため、10人規模の設置から始めた方がよいと思う。

7 今後の対応

サウンディング調査の実施により、各事業者の皆様の貴重なご意見をいただくことができました。

今回のサウンディングの結果を踏まえ、佐久市障害者支援施設「臼田学園」の民間活用について、今後の方向性について検討を進めてまいります。

なお、定員については、令和4年4月1日から40人に変更を予定しております。